

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 大真空

コード番号 6962 URL <http://www.kds.info>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 長谷川 宗平

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 土井 紀夫

TEL 079-426-3211

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	22,954	△22.7	713	△60.0	20	△98.1	△205	—
21年3月期第3四半期	29,693	—	1,783	—	1,069	—	62	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△4.95	—
21年3月期第3四半期	1.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	56,675	31,769	51.3	701.34
21年3月期	56,138	31,820	52.1	698.06

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 29,096百万円 21年3月期 29,260百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	3.00	8.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

当社は定款において期末日を基準日と定めておりますが、平成22年3月期の期末配当予想額につきましては、未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	△13.6	1,360	—	530	—	100	—	2.39

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 45,246,212株 21年3月期 45,246,212株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 3,758,611株 21年3月期 3,329,962株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 41,548,533株 21年3月期第3四半期 42,538,177株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. 平成22年3月期の期末配当予想額は、市況の回復が極めて不透明であることにより、現時点では未定とさせていただきます。今後の経済動向や業績等を総合的に勘案し、見通しが立った時点で速やかに開示いたします。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、各国による経済対策と景気刺激策の実施により、米国や欧州では緩やかに、また中国経済においては急速な回復がみられました。しかしながら、国内経済はアジアを中心とした海外需要の回復に伴い生産は増加しているものの設備投資は低迷し、雇用情勢は依然として厳しく、本格的な回復には至りませんでした。

このような経済環境の中、携帯電話マーケットではスマートフォンなどの高機能端末向けの製品が堅調に推移しました。また、ネットブックを中心としたノートパソコン向けの需要にも回復が見られ、カーエレクトロニクス関連の受注も回復しております。しかしながら、当第2四半期連結累計期間が前年と比較して大幅に売上が減少したため、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は22,954百万円（前年同期比 22.7%減）となりました。利益面につきましては、小型・新製品の投入による製品ミックスの改善やコスト改善を継続しましたが、売上高減少の影響が大きく、営業利益は713百万円（前年同期比 60.0%減）となりました。また為替相場の円高/ドル安により、為替差損401百万円を計上した結果、経常利益は20百万円（前年同期比 98.1%減）、四半期純損失は205百万円（前年同四半期連結累計期間は四半期純利益62百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、前期末と比較して536百万円増加し、56,675百万円となりました。現金及び預金の増加が主な要因となっております。

負債合計は、前期末に比べ587百万円増加し、24,906百万円となりました。有利子負債の増加などによるものであります。

純資産合計は、前期末に比べ51百万円減少し、31,769百万円となりました。利益剰余金が減少したことなどによります。

自己資本比率は、前期末に比べ0.8ポイント減少し、51.3%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、原材料価格の変動や世界経済の動向など景況に不透明感もあり、現時点において当社業績に与える影響を想定することが困難なため、通期の業績予想につきましては、平成21年5月15日発表の業績予想を修正しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、主に当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）が平成21年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,007,088	7,576,312
受取手形及び売掛金	9,693,506	8,177,651
有価証券	3,363,693	4,750,073
商品及び製品	2,501,693	3,142,541
仕掛品	2,454,384	2,331,718
原材料及び貯蔵品	1,464,282	1,753,597
繰延税金資産	38,442	29,759
その他	1,023,206	1,186,921
貸倒引当金	△75,159	△53,393
流動資産合計	30,471,139	28,895,182
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,472,111	5,695,524
機械装置及び運搬具（純額）	11,520,218	11,279,747
工具、器具及び備品（純額）	1,215,166	1,362,711
土地	5,652,056	5,559,423
建設仮勘定	125,194	936,622
有形固定資産合計	23,984,747	24,834,030
無形固定資産		
のれん	219,364	297,010
その他	180,153	193,561
無形固定資産合計	399,517	490,572
投資その他の資産		
投資有価証券	1,214,748	1,154,675
長期貸付金	641	1,059
繰延税金資産	11,447	10,147
その他	784,445	944,104
貸倒引当金	△191,233	△190,869
投資その他の資産合計	1,820,050	1,919,117
固定資産合計	26,204,315	27,243,720
資産合計	56,675,454	56,138,903

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成21年12月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,053,642	2,337,374
短期借入金	3,858,715	3,446,065
1年内返済予定の長期借入金	3,049,619	4,210,602
未払金	1,094,682	945,871
未払法人税等	78,763	117,269
繰延税金負債	591	206
賞与引当金	139,734	528,465
その他	717,711	643,421
流動負債合計	10,993,461	12,229,276
固定負債		
長期借入金	10,470,493	8,483,831
繰延税金負債	598,120	567,204
退職給付引当金	1,472,049	1,415,123
長期未払金	1,262,384	1,454,311
その他	109,511	168,428
固定負債合計	13,912,559	12,088,899
負債合計	24,906,020	24,318,175
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,344,883	19,344,883
資本剰余金	12,413,615	12,413,680
利益剰余金	284,425	615,863
自己株式	△1,507,893	△1,405,360
株主資本合計	30,535,031	30,969,066
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	64,509	△54,003
為替換算調整勘定	△1,502,736	△1,654,842
評価・換算差額等合計	△1,438,226	△1,708,845
少数株主持分	2,672,629	2,560,506
純資産合計	31,769,434	31,820,727
負債純資産合計	56,675,454	56,138,903

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	29,693,582	22,954,788
売上原価	22,604,704	18,054,655
売上総利益	7,088,878	4,900,133
販売費及び一般管理費	5,305,779	4,186,575
営業利益	1,783,098	713,557
営業外収益		
受取利息	68,658	30,354
受取配当金	30,959	24,836
その他	115,336	126,929
営業外収益合計	214,954	182,120
営業外費用		
支払利息	286,068	303,087
為替差損	466,412	401,110
その他	175,982	170,659
営業外費用合計	928,462	874,857
経常利益	1,069,591	20,820
特別利益		
固定資産売却益	23,229	5,425
投資有価証券売却益	6,000	102,816
その他	1,888	11,334
特別利益合計	31,117	119,575
特別損失		
固定資産売却損	174	114
固定資産除却損	5,368	2,784
投資有価証券評価損	236,837	26,276
持分変動損失	—	10,139
その他	4,041	3,012
特別損失合計	246,422	42,328
税金等調整前四半期純利益	854,286	98,068
法人税、住民税及び事業税	410,772	220,841
法人税等調整額	74,795	△20,409
法人税等合計	485,567	200,432
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△102,364
少数株主利益	305,730	103,325
四半期純利益又は四半期純損失(△)	62,989	△205,689

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	854,286	98,068
減価償却費	2,663,349	2,386,759
のれん償却額	74,265	76,266
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,832	21,842
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△422,619	△388,996
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,750	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,463	58,959
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△221,371	—
受取利息及び受取配当金	△99,618	△55,191
支払利息	286,068	303,087
為替差損益 (△は益)	△222,301	231,299
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,000	△102,816
投資有価証券評価損益 (△は益)	236,837	26,276
有形固定資産売却損益 (△は益)	△23,055	△5,310
有形固定資産除却損	5,368	2,784
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,061,271	△1,559,026
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△250,075	778,859
仕入債務の増減額 (△は減少)	408,862	△248,998
その他	558,375	377,414
小計	2,797,645	2,001,276
利息及び配当金の受取額	99,148	55,191
利息の支払額	△304,429	△304,485
法人税等の還付額	—	33,604
法人税等の支払額	△695,069	△300,564
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,897,294	1,485,023
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,666	△20,682
定期預金の払戻による収入	50,483	96,084
有価証券の取得による支出	△302,600	—
有価証券の売却による収入	353,600	—
有形固定資産の取得による支出	△3,108,478	△1,752,368
有形固定資産の売却による収入	329,767	198,257
投資有価証券の取得による支出	△104,734	△54,284
投資有価証券の売却による収入	6,000	229,504
子会社株式の取得による支出	△635,327	—
貸付けによる支出	△510	△5,824
貸付金の回収による収入	1,146	4,441
その他	△1,430	128,226
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,462,749	△1,176,645

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,194,516	405,039
長期借入れによる収入	2,690,000	4,390,713
長期借入金の返済による支出	△1,508,093	△3,539,745
社債の償還による支出	△1,150,000	—
配当金の支払額	△427,703	△127,385
少数株主からの払込みによる収入	2,190	23,539
少数株主への配当金の支払額	△287,150	△79,992
自己株式の処分による収入	11,555	226
自己株式の取得による支出	△159,293	△102,823
財務活動によるキャッシュ・フロー	366,021	969,573
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,291	△145,817
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,210,724	1,132,133
現金及び現金同等物の期首残高	8,167,846	12,062,570
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,957,121	13,194,704

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

水晶製品事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

	日本 (千円)	欧州 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	10,321,836	1,302,323	16,849,137	1,220,285	29,693,582	—	29,693,582
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,415,961	4,115	8,686,573	359	22,107,009	(22,107,009)	—
計	23,737,798	1,306,439	25,535,710	1,220,644	51,800,592	(22,107,009)	29,693,582
営業利益又は営業損失(△)	1,626,717	16,563	1,230,179	△65,930	2,807,529	(1,024,430)	1,783,098

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

	日本 (千円)	欧州 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	9,177,827	950,303	12,034,987	791,670	22,954,788	—	22,954,788
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,871,777	674	6,831,729	713	17,704,894	(17,704,894)	—
計	20,049,604	950,977	18,866,716	792,384	40,659,683	(17,704,894)	22,954,788
営業利益又は営業損失(△)	2,176,810	△39,634	△60,620	△70,150	2,006,405	(1,292,847)	713,557

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……………ドイツ

(2) アジア………香港、シンガポール、中国、インドネシア、台湾、タイ

(3) 北米……………米国

3 追加情報

(前第3四半期連結累計期間)

当社及び国内連結子会社は、減価償却資産の耐用年数等に関する平成20年度法人税法の改正を契機として、資産の利用状況を見直した結果、第1四半期連結会計期間より、固定資産の耐用年数を変更いたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の「日本」の営業利益が104,666千円減少しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	欧州	アジア	北米	計
I 海外売上高（千円）	1,349,125	17,436,718	1,271,210	20,057,054
II 連結売上高（千円）				29,693,582
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	4.5	58.7	4.3	67.5

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	欧州	アジア	北米	計
I 海外売上高（千円）	952,637	15,106,099	822,120	16,880,857
II 連結売上高（千円）				22,954,788
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	4.1	65.8	3.6	73.5

（注）1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……………ドイツ

(2) アジア………香港、シンガポール、中国、台湾

(3) 北米……………米国

3 海外売上高は、当社グループ（当社及び連結子会社）の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。